

## 語句説明

No.	語句	説明	ページ
-	5つの子ども像	1. 確かな学力を身につけた子ども 2. 学ぶ意欲、学ぶ習慣を身につけた子ども 3. コミュニケーション力と情報活用能力を身につけた子ども 4. 心豊かで思いやりのある子ども 5. 健康で元気な子ども	はじめに
(1)	3がいプラン	3つの「がい」をキーワードに、寝屋川市の教育の充実をめざすもの。 ①全ての子どもにとって「行きがいのある」学校園 ②全ての教職員にとって「働きがいのある」学校園 ③全ての保護者・地域にとって「頼りがいのある」学校園	3
(2)	「子育てステップ」シート	子ども達の心豊かで健やかな成長を共有しながら、幼稚園と家庭が一緒になって幼児一人ひとりの発達に応じ、子どもの育ちを支えていくために活用するシートのこと。幼稚園教育要領に基づいて、基本的な生活習慣や社会生活を送る上で基本となる項目等も掲載している。	5
(3)	小中一貫教育推進委員会	校長会役員、教頭会代表、指導主事により構成。校長会課題別研修（6部会）と指導主事ワーキンググループ（6WG）の連携により、小中一貫教育の課題と今後の方向性、中学校区単位での推進について検討する。	10
(4)	中学生サミット	各中学校の生徒会執行部員が生徒会活動や日々の学校生活について情報交換することを通して、各中学校の活性化をめざすとともに、これからの中学生のあるべき姿について考える場として、各中学校の生徒会顧問が中心となって、生徒の意見を取り上げながら企画運営を行なっている。平成19年8月に立ち上げた組織。	11
(5)	学校教育に関する有識者会議	学識経験者、校長会代表、指導主事により構成。学校教育に対する外部評価を行い、今後の方向性を検証し、施策に活かす。	12
(6)	有松・鳴海絞りテレビ会議	「有松・鳴海絞り」は、愛知県名古屋市の有松・鳴海地域を中心に生産され、国の伝統工芸品にも指定されている絞り染めの総称である。日本の伝統工芸の匠によるテレビ授業ということで、友呂岐中学校の生徒がその伝統工芸について学んだ。	12
(7)	フィジーとアートマイル制作	アートマイル協会との連携で、友呂岐中学校の生徒たちが、フィジーの子どもたちと、テレビ会議を通じて絵画制作を行った。大きなキャンバスに半分ずつ絵を描いて一緒に完成させる作品制作の様子は、テレビのニュースでも放映された。	12

No.	語句	説明	ページ
(8)	学校インターンシップ	主として教職を希望する大学生・大学院生が広く社会経験を積むために、ある期間、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、支援学校などの教育現場に入り、学校現場における諸活動（授業補助・課外活動・行事・事務など）の実務経験をすること。	13
(9)	学習到達度調査	小学校2年生から6年生を対象に、国語と算数、中学校1年生を対象に、国語と数学、中学校2年生、3年生を対象に国語、数学、英語について、学習指導要領に定められている、国語、算数・数学、英語の学習内容について、すべての児童・生徒の定着度を測る市独自の調査のこと。平成15年度より実施している。この調査結果をもとに、各学校における児童・生徒一人ひとりの学習指導方法の工夫改善に資するために実施している。	14
(10)	全国学力・学習状況調査	文部科学省が、小学校6年生と中学校3年生を対象に、平成19年度から実施している調査。学力調査と学校質問紙調査、児童生徒質問紙調査からなる。	15
(11)	ブロンズ受検 シルバー受検 ゴールド受検	児童英検は、英語に親しみ、外国の文化を理解することを目標とした児童向けのリスニングテストであり、「ブロンズ」「シルバー」「ゴールド」の3段階がある。受検の目安は、小学校の英語活動（50分のレッスンを週1回受けている場合）で言えば、「ブロンズ」1年半～2年、「シルバー」2年半～3年半、「ゴールド」4年～5年以上程度とされる。	17
(12)	評価・育成システム	大阪府内の全教職員を対象に、教職員の意欲・資質能力の向上、教育活動の充実及び学校の活性化に資することを目的として、平成16年度から実施。平成19年度から評価結果を給与に反映している。	21
(13)	学務情報システム	紙媒体で管理していた学齢簿を電子データで管理することができるシステムのこと。このシステムにより、加除訂正の正確化及び迅速化を図ることができる。また、就学援助費支給事務、私立幼稚園就園奨励費補助金及び保護者補助金支給事務のシステムも付随している。	25
(14)	Is値	建物の耐震性能を表わす指標。地震に対する建物の強度、靱性（変形能力、粘り強さ）が大きいほどこのIs値も大きくなり、耐震性能が高くなる。文部科学省では、公立学校施設の耐震改修の補助要件、地震時の児童生徒の安全性、被災直後の避難場所としての機能性から補強後のIs値がおおむね0.7を越えることとしている。	28
(15)	地域教育協議会	学校・家庭・地域が協働して教育コミュニティづくりを進め、人間関係を築く中で「地域の子どもは地域で育てる」という機運を醸成し、地域が一体となって子どもの健全育成を図っていく目的で、平成12年度に市内12学校区に設立されている組織。	35

No.	語句	説明	ページ
(16)	放課後子ども教室	小学校の校庭や体育館等の学校施設を活用して、放課後や週末等に、安全で安心な子どもの居場所（活動拠点）を設け、地域のボランティアの方々の参画・協力を得て、学習やスポーツ・文化活動等さまざまな体験を子どもたちに提供し、地域社会全体で子どもの豊かな成長を育む教育コミュニティづくりを推進する。	35
(17)	まなび舎事業・まなび舎キッズ	放課後子ども教室の中に位置づけられており、子どもの学力向上と学習習慣の定着を図ることを目的として、宿題・国語・算数の学習を支援するものです。	35
(18)	学校支援地域本部	学校を支援するため、学校が必要とする活動について地域の方々をボランティアとして派遣する組織で、これまでも各学校で行なってきた地域のボランティアの協力を得ながら学校運営や教育活動の取組をさらに広げるもの。	35
(19)	地域教育力	学校・家庭・地域が連携し、多くの地域の方の協力を得ながら、地域社会全体で子どもを育むこと。	36
(20)	指定管理者制度	地方自治法改正に伴い、公の施設を民間の活力を導入し、効果的効率的な管理運営による住民サービスの向上と経費縮減を図るための制度。	37
(21)	デイジー図書	CD-ROMに世界の点字図書館で合意したフォーマットによって、音声情報を記録しているもの。デジタル録音図書の国際基準の頭文字をとってデイジー図書と呼んでいる。	42
(22)	ジュニアリーダーセミナー	小学校4・5・6年生を対象に、校区を越えた異年齢の交流を行い、仲間づくりを基調として健全な子どものあるべき姿を実現するセミナー。	47
(23)	ジュニアサミット・ヤングリーダーセミナー	中・高校生を対象に、自然体験や社会活動を通じて時世代を担うリーダー養成のためのセミナー。	47
(24)	オーパススポーツシステム	大阪府と14市1町が共同で開発・運用している公共スポーツ施設の予約・案内システムのこと。登録手続きをすればインターネット、電話、街頭端末機で公共スポーツ施設の空き状況を検索したり、予約ができる。	65
(25)	総合型地域スポーツクラブ	年齢や性別等にとらわれず、多世代の地域住民が多種目のスポーツに良質な指導者の下で楽しむことができるスポーツクラブで平成22年度までに少なくとも一つは市町村に設立することを文部科学省がスポーツ振興基本計画で提唱している。	65

No.	語句	説明	ページ
(26)	野外活動センターシステム	登録すれば市立野外活動センターに直接行かなくても、文化スポーツ振興課に設置している端末機及び街頭端末機から予約申請等ができるシステムのこと。	66
(27)	リーダーズバンク	スポーツインストラクター養成講習会修了者による市域におけるスポーツ活動普及の為に教育委員会が設置している人材バンク。	70